



保護者のみなさまへ

お子さんを交通事故から守るため、



まずは幼児の特性を知りましょう

～幼児の特性～

- 1つのものに注意が向くと、まわりのものが目に入らない。
- 抽象的なことばだけではよく理解できない。
- おとなのまねをする...など。

～幼児の特性による危険な行動の例～

- 道路の反対側で名前を呼ばれ、周りを見ないで道路に飛び出す。
- おとなが信号無視をしたら、そのまま真似をする。
- 手をあげれば車はとまってくれると単純に考える。

よいお手本となりましょう!



交通ルールやマナーは保護者が日常生活の中でくり返し教えていくことが大切です。
日頃から交通ルールやマナーについて親子で話し合う機会をつくり、関心を高めましょう。



まもってね!

こうつうルール

あぶない!

とびだしはしません!



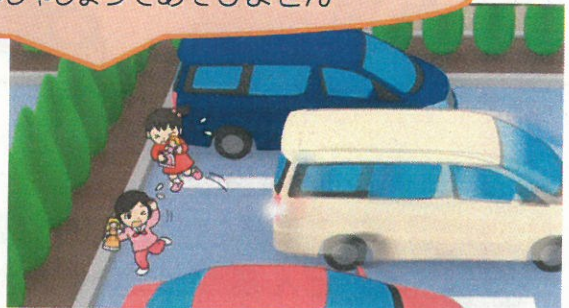
しんごうをまもります

ちかくに しんごうきや
おうだんぼどうが あったら
そこに いて わたろう。



しんごうを まもろう

どうろやちゅうしゃじょうであそびません



くるまにのったらシートベルト



じてんしゃにのるときはかならずヘルメットをかぶります





～子どもたちの安全を守ろう～

～子どもを狙う手口の例～

- ・ お菓子を買ってあげるよ
- ・ おかあさんが病院に運ばれたんだ。病院へ連れて行ってあげるよ
- ・ おもしろいゲームがあるから家に来ない?
- ・ 道に迷ったんだ。車に乗って案内してよ
- ・ いっしょに犬をさがしてくれない?
...などと声掛けて連れ去ろうとします。



子どもたちを守るために...

～地域全体で子どもたちを見守りましょう～

- ・ 合言葉「いかのおすし」を毎日確認しましょう。
- ・ 子どもを一人にしない工夫をしましょう。
- ・ 子どもには「危険を感じたら大声で叫ぶ、すぐ逃げる、助けを求める」ことを教えて下さい。
- ・ 110番の家や交番など、子どもがいざというときに逃げ込める場所をお子さんと一緒に確認しましょう

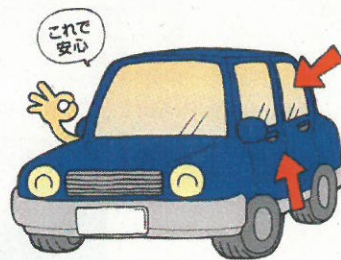


～お願い～

不審者を見たり、不審者の情報を聞いたときは速やかに通報をお願いします。



ほうはん



～鍵掛けを徹底しましょう～
ゴミ捨てなど短時間でも外出するとき、車や自転車を止め、離れるときは鍵掛けを徹底しましょう!



さいごに...

子どもたちは日々成長し、出来ることも増え、行動範囲はどんどん広がっていきます。その際に、交通ルールや防犯のきまりを守る習慣が身についていないととても危険です。

子どもたちには「なぜ危険なのか」ということを具体的にくり返し指導し、子どもたちを危険なものから守りましょう!

